

日本の海岸線を歩く会 行動報告書

報告者 住山 茂

1. 概要

| | |
|-------|-------------------------|
| 地域分類 | 渥美半島（東海8歩行） |
| 歩行区間 | スタート地点: JR 東海 東海道線 新居町駅 |
| | ゴール地点: 豊橋鉄道 老津駅 |
| 実施期間 | 2014年3月21日～25日 |
| 全歩行距離 | 約 117 km |

2. メンバー表

| No. | 役割・分担 | 氏名 | 年齢 | 歩行日数 | 備考 |
|-----|---------|--------|----|------|----|
| 1 | リーダー・記録 | 住山 茂 | 68 | 5 | |
| 2 | | 江守 善昭 | 75 | 1 | |
| 3 | | 甲田 征三 | 69 | 5 | |
| 4 | | 甲田 みつえ | | 5 | |
| 5 | | 横山 泰一 | 68 | 5 | |

3. 歩行の概要

| | 月日 | 出発地～到着地 | 歩行距離 | 歩行参加者 | 備考 |
|---|-------|----------|-------|----------------|----|
| 1 | 3月21日 | 新居町駅～久美原 | 27 km | 住山、江守、甲田、甲田、横山 | |
| 2 | 3月22日 | 久美原～和地 | 22 km | 住山、甲田、甲田、横山 | |
| 3 | 3月23日 | 和地～休暇村 | 17 km | 〃 | |
| 4 | 3月24日 | 休暇村～江比間 | 27 km | 〃 | |
| 5 | 3月25日 | 江比間～老津駅 | 24 km | 〃 | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |

4. 参加費、費用概算

| | | | |
|-----------|------------|---------|-------------|
| (1) 参加費合計 | 2,100円 | 参加者延べ日数 | 21日 |
| (2) 概算費用 | 合計 69,000円 | 内訳 | 交通費 16,000円 |
| (住山の場合) | | 宿泊費ほか | 36,000円 |
| | | 食料・飲料ほか | 17,000円 |

5. 歩行の詳細

21日(金) 快晴 非常に強い北西の風

9時10分 JR新居町駅に集合

駅前で記念撮影、出発準備をして、強い風の中9時25分にスタート。

海岸沿いの国道バイパスへ出るまでの間、強風の中を少しウロウロしてしまったが、バイパス沿いには遊歩道があり、松などの木が植えられていて風が少し遮られ、歩き易かった。

遊歩道が終わり国道に出ると、正面からまともに強い風を受け、歩くのに苦労する程であった。

11時35分 道の駅「潮見坂」に到着、連休初日とあってやや混雑していたが、各自好きな惣菜を適当にいくつか選んで昼食。

12時20分に道の駅を出て、海岸沿いの細い道を、強風のため白波が立つ海を左に見ながら歩いたが、右側には木々が生えていたため、風は少し弱められている感じであった。

しかし、海岸沿いから別れて国道に出ると、まともに風を受けて非常に歩き難かった。

少年自然の家への入り口を通過して、17時にこの日のゴールの久美原バス停に到着。

田原市への「ぐるりんバス」が来るまで約1時間あったので、バス停横で少し食べたり飲んだりしたが、日が傾くと風もあり寒くなったので、近くの店（よろず屋）に入り込み若干の買い物をしたり、店のオバちゃんにサインをもらったりしてバスを待つ。

バスで田原市に行き、田原シティホテルに入ったが、ここで江守さんが急用のため戻らなければならなくなり、残念ながら初日の歩行だけで別れることになってしまった。

22日(土) 快晴 北西の風

昨夜も冷たい風が吹いていたが、8時にホテルを出ると、昨日に比べ少しは弱くなっていたものの、まだ冷たい風が吹いていた。

田原駅前8時34分の「ぐるりんバス」に乗り、久美原まで行き9時10分にスタート。

午前中は海岸沿いに歩ける道はないので国道を歩いたが、両側にはキャベツ畑やビニールハウスや温室が立ち並んでいた。

この辺りでは戦後の開拓当時大変な思いをして農地を切り開いたものと思われが、今は野菜、果物、花の栽培が盛んに行われており、開拓4世(?)の子供たちは明るく元気で、道ですれ違ふと皆が挨拶をして行き、とても気持ち良かった。

赤羽根港近くの国道沿いの店に立ち寄った時、店の壁に「祝新人王 ライアン小川」と大きく書かれた紙が貼ってあったので、店のオバちゃんに聞くと、赤羽根中学の卒業生とのこと。

子供の頃から知っているし、今シーズンは開幕投手なので活躍を期待している、とニコニコ話してくれた。

そんなこともあってか、練習を終わった野球部やソフトボール部の多くの男女中学生達と出会った。

道の駅「赤羽根ロケーション」で昼食、名物の「大あさり」で一杯飲んで、菜の花定食（菜の花祭り開催中）を食べる。赤羽根港の先からは自転車・歩行者専用道路があり、よく整備されていて木々により北西からの風も遮られ、左手に雄大で前日に比べて波が静かになった遠州灘を見ながら気持ちよく歩く。

和地の手前で国道に戻り、16時25分民宿「とこはる」に到着。

23日(日) 快晴

天気は快晴で風も弱く、今回の歩行のハイライトである伊良湖岬を歩くには絶好の日和となった。

これも、今回の歩行メンバーの日頃の心掛けの賜物か??

8時15分にスタートして50分ほど国道を歩いた後、自転車・歩行者専用道路に入る。

昨日までの冷たい風と違って、心地よいそよ風といった感じの中、海岸線に沿って快調に歩き、専用道路の横には大きな（背丈以上の）サボテンや背の低い肉厚の葉の植物の花が咲いていて、温暖な気候であることが想像された。

太平洋の荒波に侵食されて真ん中が洞穴となった石門（日出(ひい)の石門）から少し丘の上になり上がり、椰子の実の詩碑を見て恋路が浜へ下りて、浜沿いに歩き伊良湖岬へは12時に到着。

伊良湖岬燈台手前の燈台茶屋の店先で、焼きガキ、大あさり、刺身など海の幸で一杯飲んで昼食、連休最終日で岬周辺は賑やかだった。

13時05分に午後の歩行を開始、燈台の前を通り岬をぐるっと回って伊良湖港へ出ると、水揚げには遅い時間帯ではあったが、色々な魚が上がっていて、ふぐも見られた。

遠州灘とはお別れして伊勢湾沿いになり、西に紀伊半島を見ながらゴルフ場横を歩き、14時45分に伊良湖国民休暇村に到着。

24日(月) 快晴

8時35分休暇村を出発、霧が掛かっている遠方はよく見えなかったが、上空には青空が広がっていて風も無く、気温は上がるとの予報が出ていた。

左手に伊勢湾を見ながらほぼ直線の道を北北東に歩き、堰堤と道路が平行に走っていて一寸無駄なことではないかと感じたが、堰堤は農林水産省の管轄、道路は国土交通省の管轄となっていることが分り、そうか、なるほど！と変に納得してしまった。

我々は車が通らない(時々通ったが…)堰堤上を歩き、前方に見えていた風力発電の風車や火力発電所の煙突の横を通り、立馬崎燈台と思われる白い建物を過ぎて立馬崎に達した。

表示も何も無かったが、燈台は多分電波燈台で、所謂燈台らしからぬ白い建物だったのだろう。

立馬崎には海に突き出した鉄骨の建造物があり、何かと思ったら火力発電所の燃料となる重油などの陸揚げの設備だった。

堰堤上を海岸線に沿って忠実に歩き、福江港では漁船が何かを水揚げしていたので見に行くと「なまこ」で、今日はなまこで一杯かな?などと考えながら、13時10分福江に到着、この日の宿である玉川旅館で遅い昼食を食べる(実はここで「なまこ」で一杯)。昼食後、荷物を旅館に置いて先に進む。

福江からも堰堤上を海岸線に沿って歩き、はるか彼方に今朝その前を歩いて来た火力発電所の煙突を見ながら泉港(江比間)に到着。渥美湾は遠浅で波静かで、のりの養殖が盛んに行われていて、またアサリなど魚介類も豊富に取れるようであった。

豊橋鉄道バスで福江に戻り16時50分に玉川旅館に到着。

25日(火) 晴

この4日間に比べ雲は少し出ているものの天気は晴れ、風もなく歩行最終日も天気には恵まれそうであった。旅館の前からバスに乗り、昨日足を延ばした江比間まで行き、8時25分スタート。

江比間から馬草港までは国道とほぼ平行に旧道があり、松並木となっていて気持ち良く歩くことが出来た。馬草港からは国道と分かれて海岸沿いの旧道を歩き、仁崎の海水浴場を過ぎて白谷の港に着くと、目の前に巨大な工場が建っていて、さらに工場団地の造成中で新しい道路も建設中であった。

この辺りの海岸沿いには工場群があって、海岸線は歩けないことが分っていたので、ショートカットして三河港大橋に向かう積りだったが、新しい道が作られていたこともあり(これは言い訳)ショートカットをし損ない、工場群に沿ってしばらく歩いてしまった。

気がついた時は昼過ぎだったので、手持ちの食料を少し食べて、食堂などがあることを期待して浦と言う名の集落へ向かった。この辺りは工場群に勤める人の家なのか、真新しい家が立ち並んでいたが、店は見当たらずようやく一軒あった食堂は休みだったので、仕方なくそのまま歩き三河港大橋を渡る。

橋は大型トラックなど交通量が非常に多かったが、歩道が設置されていたので歩行には問題なく、15時15分に豊橋鉄道の老津(おいつ)駅に無事到着。

老津駅で記念撮影をして、豊橋に出て駅ビルの食堂で打ち上げを行ない、新幹線で帰途につく。

今回の歩行は初日は強風で苦労したが、5日間とも天気は良く「春に3日の晴れなし」と言われる中、天気に恵まれ、若干の思わぬ出来事もあったが、無事に終了できて、大変良かったと思う。

6. 写真と地図

写真は4頁、5頁に示す。

地図と各地点の写真は別資料として添付。



海岸脇の遊歩道に行く (3/21)



天気は良かったが強風の遠州灘 (3/21)



道の駅で菜の花定食を食べる (3/22)



良く整備されたサイクリングロードに行く (3/23)



恋路が浜 (3/23)



伊良湖岬での豪華昼食、大あさりで一杯 (3/23)



遠州灘と菜の花畑の間に行く (3/23)



休暇村を出発 (3/24)



渥美半島西端を歩く (3/24)



樽を覗き込むと「なまこ」だった (3/24)



最終日の朝、宿のオバちゃん (3/25)



三河湾沿いの松並木を快調に?? 歩く (3/25)



三河湾大橋 (3/25)



ゴールの豊橋鉄道 老津駅に到着 (3/25)